



東京外国語大学出版会 新刊情報

バルト諸国を代表する詩人トマス・ヴェンツロヴァ、 待望の自選詩集が初邦訳！

——激動の生涯をつらぬく代表作 73 篇を、リトアニア語原典から翻訳し 7 月 31 日刊行——

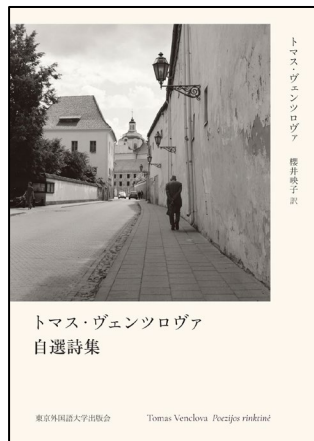
東京外国語大学（学長：春名展生）出版会は、2026 年 7 月 31 日、リトアニアを代表する詩人トマス・ヴェンツロヴァの代表作を収録した『トマス・ヴェンツロヴァ自選詩集』を刊行いたします。本作は、詩人自らが選定した 73 篇の詩を、リトアニア語原典から初めて邦訳した記念碑的な一冊です。また、刊行に先立ち、7 月 28 日（火）には訳者による出版記念講演会を開催いたします。

■ 本書の概要

トマス・ヴェンツロヴァ（1937-）は、ソ連時代の反体制活動により 1977 年に米国へ亡命し、その後もリトアニア語で詩作を続けてきた、バルト諸国および東欧を代表する詩人です。

本書は、彼が自ら認める「ポスト・カタストロフィスト（大破局後の詩人）」としての姿勢が凝縮された一冊です。戦争や全体主義による文明の崩壊を経験し、その絶望を前提としながらも、廃墟の中から新たな意味を見出そうと言葉を紡ぎ続ける彼の詩には、宿命としての亡命や「空虚ではあるが絶望的ではない世界」というテーマが通底しています。境界線が分断の色合いを強める現代において、彼の「越境する言葉」はかつてないほど重要な意味を持っています。

（書籍情報、著者・訳者プロフィールは次ページ）



本書の書影

■ 出版記念講演会の開催

本書の刊行を記念し、日本におけるリトアニア研究の第一人者であり、本書の翻訳・出版に尽力された櫻井映子氏による講演会を開催いたします。

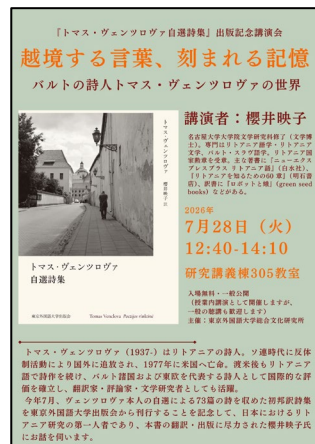
タイトル：『トマス・ヴェンツロヴァ自選詩集』出版記念講演会
「越境する言葉、刻まれる記憶—バルトの詩人トマス・ヴェンツロヴァの世界」

日時：2026 年 7 月 28 日（火）12:40～14:10

会場：東京外国語大学 研究講義棟 305 教室

入場料：無料・一般公開（事前予約不要）

主催：東京外国語大学総合文化研究所



イベントチラシ

【添書：書誌情報、著者・訳者プロフィール、出版記念講演会チラシ】

＜本件に関するお問い合わせ＞

東京外国語大学 広報・社会連携課 広報係

TEL：042-330-5151 FAX：042-330-5140 E-mail：koho@tufs.ac.jp



■ 書誌情報

書名：『トマス・ヴェンツロヴァ自選詩集』

著者：トマス・ヴェンツロヴァ

訳者：櫻井映子

判型・頁数：四六変型・並製・328 頁

価格：3,900 円（税抜）

ISBN：978-4-910635-23-1

発売日：2026 年 7 月 31 日

出版社：東京外国語大学出版会

廊下の鍵をかけるとき、心臓の
鼓動が乱れ、胸が重くなった。
確かに、その国において死は
偶然ですらあり得たのだ。

——「われらが人生の旅の半ばに」より

ソ連体制による精神の支配に対峙したヴェンツ
ロヴァは、一九七七年、この詩の直後、祖国リト
アニアを離れ、亡命する。

反体制活動、亡命、祖国独立、そして帰還——
詩人の自選による 73 篇を、リトアニア語原典か
ら初邦訳



トマス・ヴェンツロヴァ
櫻井映子 訳

トマス・ヴェンツロヴァ 自選詩集

東京外国語大学出版会

Tomas Venclova Poetijos rinktinė

本書の書影

■ 著者・訳者プロフィール

著者：トマス・ヴェンツロヴァ (Tomas Venclova)

1937 年リトアニア生まれ。ヴィルニウス大学卒業。1977 年に米国へ亡命後、イエール大学で
教鞭を執る。リトアニア国家文化芸術賞など多数の文学賞を受賞し、リトアニアおよびポーラ
ンドの国家勲章を受章している。

訳者：櫻井映子 (Eiko Sakurai)

名古屋大学大学院文学研究科修了（文学博士）。現在、東京外国語大学・大阪大学リトアニア
語講師。専門はリトアニア語学・文学。リトアニア国家勲章受章。主な著書に『リトアニアを
知るための 60 章』など。

＜本件に関するお問い合わせ＞

東京外国語大学 広報・社会連携課 広報係

TEL：042-330-5151 FAX：042-330-5140 E-mail：koho@tufs.ac.jp



■ 出版記念講演会チラシ

『トマス・ヴェンツロヴァ自選詩集』出版記念講演会

越境する言葉、刻まれる記憶

バルトの詩人トマス・ヴェンツロヴァの世界



トマス・ヴェンツロヴァ
櫻井映子 訳

トマス・ヴェンツロヴァ
自選詩集

東京外国語大学出版会 Tomas Venclova Poetijos rinktinė

講演者：櫻井映子

名古屋大学大学院文学研究科修士（文学博士）。専門はリトアニア語学・リトアニア文学、バルト・スラヴ語学。リトアニア国家勲章を受章。主な著書に『ニューエクスプレスプラス リトアニア語』（白水社）、『リトアニアを知るための60章』（明石書店）、訳書に『ロボットと蛾』（green seed books）などがある。

2026年
7月28日（火）
12:40-14:10

研究講義棟305教室

入場無料・一般公開
（授業内講演として開催しますが、一般の聴講も歓迎します）
主催：東京外国語大学総合文化研究所

トマス・ヴェンツロヴァ（1937-）はリトアニアの詩人。ソ連時代に反体制活動により国外に追放され、1977年に米国へ亡命。渡米後もリトアニア語で詩作を続け、バルト諸国および東欧を代表する詩人として国際的な評価を確立し、翻訳家・評論家・文学研究者としても活躍。

今年7月、ヴェンツロヴァ本人の自選による73篇の詩を収めた初邦訳詩集を東京外国語大学出版会から刊行することを記念して、日本におけるリトアニア研究の第一人者であり、本書の翻訳・出版に尽力された櫻井映子氏にお話を伺います。

東京外国語大学出版会について

「読者のなかに、ある反響を生みだしたい」という理念のもと、2008年10月に設立されました。他の大学では肉薄することのできない国境を越えた言語と文化のリアリティに迫り、他大学の追従を許さない言語教育の教材やスキルを提供すること、また、空間と歴史の両面から世界の政治・経済・文化の“認識”と“思考”の手助けとなる道具を整えることを目指し、学術研究の成果を広く社会に発信しています。

名称：東京外国語大学出版会

代表：東京外国語大学学長 春名 展生

所在地：〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

URL：<https://wp.tufs.ac.jp/tufspress/>

<本件に関するお問い合わせ>

東京外国語大学 広報・社会連携課 広報係

TEL：042-330-5151 FAX：042-330-5140 E-mail：koho@tufs.ac.jp